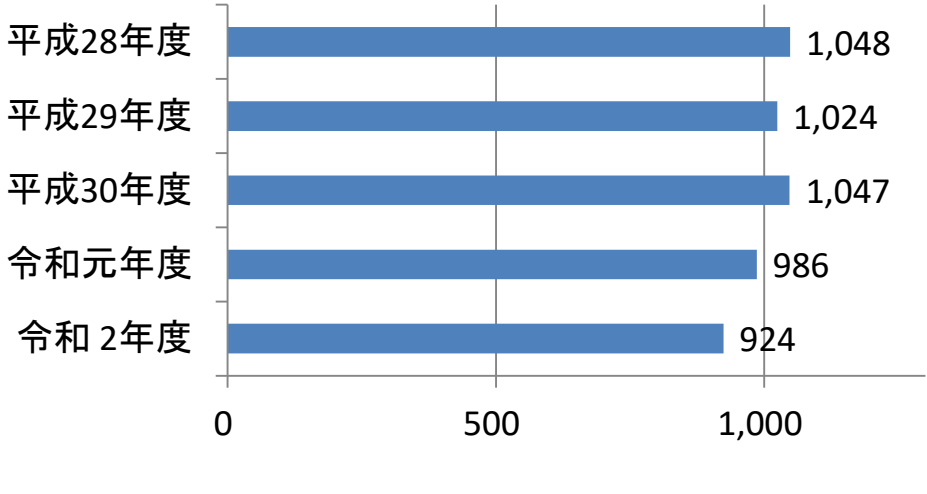


21 術中迅速病理組織診断件数

解説	<p>正確で迅速な病理診断は、時として手術中に必要となることがあり、それに基づいて病巣切除の適否または切除範囲が決められます。そのためには、限られた時間内に切除された標本を処理し、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が病院内に必要となります。件数が増加するほど、これらの機能が充実していることを表現しています。</p>												
実績	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>1,048</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>1,024</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>1,047</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>986</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>924</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成28年度	1,048	平成29年度	1,024	平成30年度	1,047	令和元年度	986	令和2年度	924
年度	件数												
平成28年度	1,048												
平成29年度	1,024												
平成30年度	1,047												
令和元年度	986												
令和2年度	924												
定義	<p>「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP),N003-2 術中迅速細胞診」の算定件数です。</p>												